

市民向け体験事業

■ 夏休み環境教室

令和元年7月28日(日)、台風一過の青野原オートキャンプ場にて、市民31名(うち子ども15名)と役員・事務局等27名の総勢58名で「夏休み環境教室」が開催されました。前日の夜までの雨により、河川は増水していましたが、強い日差しと心地よい風に恵まれ、絶好のキャンプ日和となりました。

開催のあいさつが終わるとみんなでマスのつかみ取りが始まります。子ども達は最初は怖がっていましたが、徐々に水中のマスにつかみかかるようになりました。始まってみると親達も「あっちにいるぞ!」と夢中になって叫んでいたり、家族そろってつかみ取りに夢中になっていました。

次は水生生物の観察をしました。水が冷たくて気持ちよく、また、様々な生き物を見つけることができました。観察の次は勉強タイムで、アメンボをテーマにした先生の説明を熱心に聞いていました。

そしていよいよお楽しみの昼食タイムです。お弁当と鮎の塩焼きが配られました。鮎は、2時間かけて炭火でじっくり骨まで柔らかく焼いてあり、頭からしっぽまで全部食べた子ども達は、「全部食べたよ」と嬉しそうに自慢していました。

午後は竹細工で、小刀を使った竹とんぼやお箸、昆虫作りにチャレンジしました。そこでは童心に帰った親達が積極的に小刀を使って子ども達の為に竹細工を頑張っている姿が多く見受けられました。

また、指導員の方々も子ども達に教えながら嬉しそうに交流を楽しんでいました。子ども達は、初めての竹とんぼでしたが、慣れるに従い上手に飛ばせるようになりました。

竹とんぼで小腹がすいてきた頃につかみ取りしたマスが焼け、子ども達もどんどん食べていきました。

帰りのバスでは、遊び疲れてぐっすり寝ている人やつかみ取りの自慢をしている子、「またキャンプに行きたいね」と話している親子など、いろいろな声が聞こえてきましたが、みんな環境教室に大満足の様子です。終点に到着しバスを降りるときに、子ども達は竹細工をもって、嬉しそうに「ありがとうございました」と言って帰っていきました。もちろん我々も自然や子供たちとの交流に自然と笑顔になっていました。

(昭和電線ケーブルシステム(株) 落合)



実施日：令和元年7月28日(日)

会場：青野原オートキャンプ場

講師：中道志川トラスト協会 他 参加者数：31人

参加役員：東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、(一財)生物科学安全研究所、昭和電線ケーブルシステム(株)、日産自動車(株)